

RYOSAN

An Electronic
Systems Coordinator

BUSINESS REPORT

株式会社リョーサン

2017年3月期 第2四半期

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日

経営成績並びに事業活動についてのご報告



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当連結会計年度における経営成績並びに事業活動について、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）における世界経済は、米国では緩やかな回復が続きましたが、欧州の先行き不透明感の高まり、中国を始めとする新興国の減速

等、全体としては緩慢な成長に留まりました。日本経済は雇用環境の改善や資源安等の好材料があったものの、円高や熊本地震の影響もあり、回復の踊り場状態が継続する結果となりました。

エレクトロニクス業界におきましては、市場を牽引してきた情報通信分野の需要に低迷が見られるなど、総じてみれば低調に推移いたしました。

このような情勢下で、当社グループは、2016年度を第9次中期経営計画（2014～2017年度）の3年目と位置付け、その基本姿勢に「変革」と「成長」を掲げ、事業構造の変化に対応した「ビジネスモデルの転換」と持続可能な「自律的成長」を追求してまいりました。そして、この基本姿勢を具現化するために、「成長路線の再構築」と「資本効率の向上」に取り組んでまいりましたが、円高やエレクトロニクス市場全体の需給バランス悪化の影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,018億84百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は18億77百万円（前年同期比34.0%減）、経常利益は23億45百万円（前年同期比11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億3百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

当社グループといたしましては、「成長路線の再構築」を通じた売上拡大と収益性向上により、同中期経営計画目標であるROE5%の達成を図る計画としておりますが、足元の当社を巡る経営環境等を勘案、目標実現をより確かなものにする観点から、資本効率化施策の一層の拡充を図っております。

当連結会計年度の中間配当金につきましては、1株につき普通配当金45円、特別配当金25円、合計70円とさせていただきます。また、期末配当金につきましては、1株につき普通配当金45円、特別配当金25円以上とし、年間配当金は140円以上とさせていただきます予定です。

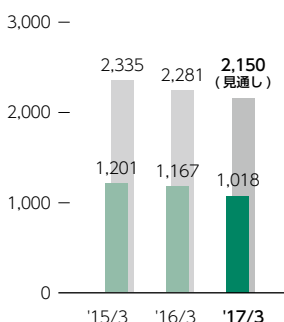
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 三松 直人

連結業績の推移

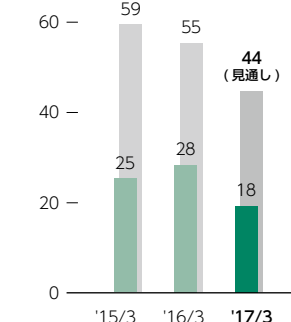
売上高 (億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



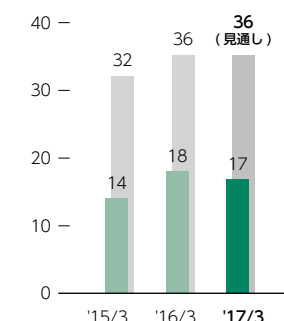
営業利益 (億円)

■ 第2四半期 ■ 通期



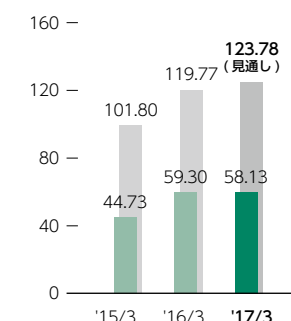
四半期(当期)純利益 (億円)

■ 第2四半期 ■ 通期

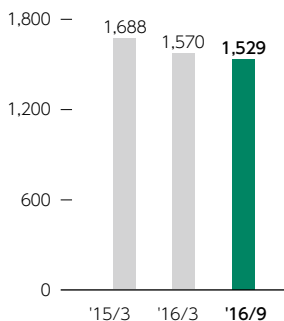


1株当たり四半期(当期)純利益 (円)

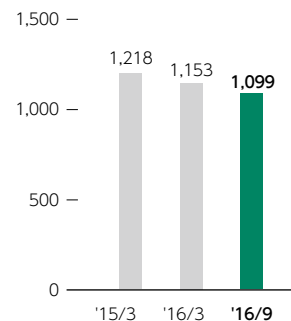
■ 第2四半期 ■ 通期



総資産 (億円)



純資産 (億円)

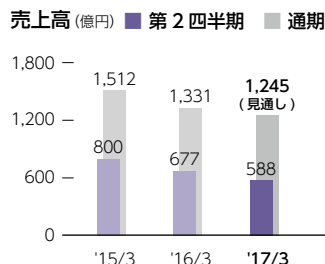


事業別報告

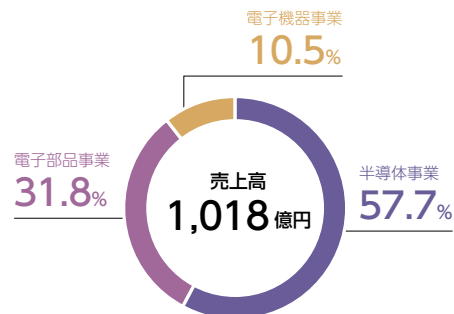
半導体事業

メモリ、システム LSI、個別半導体の販売 並びにシステム LSI の開発

情報通信機器用システム LSI 等の売上が減少し、売上高は 588 億 41 百万円（前年同期比 13.2% 減）、営業利益は 10 億 84 百万円（前年同期比 23.8% 減）となりました。



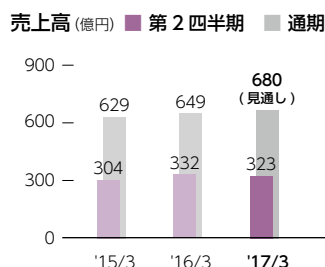
売上高構成比



電子部品事業

表示デバイス、電源、機構部品の販売

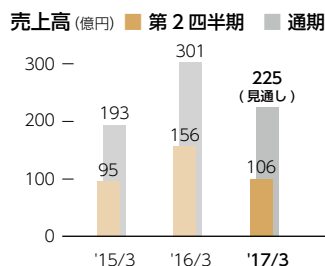
設備機器用液晶等の売上が減少し、売上高は 323 億 52 百万円（前年同期比 2.8% 減）、営業利益は 8 億 18 百万円（前年同期比 9.2% 減）となりました。



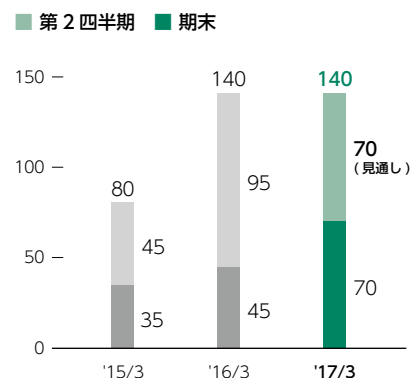
電子機器事業

システム機器、設備機器の販売

MFP (複合機) 用システム機器等の売上が減少し、売上高は 106 億 90 百万円（前年同期比 31.9% 減）、営業利益は 3 億 16 百万円（前年同期比 57.0% 減）となりました。



配当の状況 (円)



組込みシステム開発技術展 (ESEC2016) に出展しました

2016 年 5 月 11 日～13 日 (東京ビッグサイト)

IoT ソリューション

センサからクラウドコンピューティング、
「見える化」までトータルコーディネーションをご提案

Automotive Connectivity

車載ネットワークのワンストップソリューションの
ご提案

空中結像ディスプレイ

光学技術を使った、映像、物体の空中結像を実現

タッチソリューション

湾曲、水漏れに対応したタッチモジュール等をご提案



*本レポートに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が 2017 年 3 月期第 2 四半期決算発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

▶ 会社概要 (2016年9月30日現在)

商号 株式会社リョーサン
 英訳名 Ryosan Company, Limited
 本店所在地 東京都千代田区東神田二丁目3番5号
 資本金 17,690,508,514円
 従業員数 636名(連結：924名)

役員

(取締役/監査等委員)

代表取締役	三松 直人	取締役(常勤監査等委員)	坂元 岩男
取締役	栗原 宏幸	取締役(常勤監査等委員)	南部 真也
取締役	佐藤 和典	社外取締役(監査等委員)	佐藤 文昭
取締役	西浦 政秀	社外取締役(監査等委員)	桑畑 英紀
		社外取締役(監査等委員)	西本 甲介
		社外取締役(監査等委員)	小川 真人

(執行役員)

社長執行役員	三松 直人	執行役員	小林 博
専務執行役員	栗原 宏幸	執行役員	水澤 聡
上席執行役員	佐藤 和典	執行役員	石村 賢治
上席執行役員	西浦 政秀	執行役員	岩舘 隆二
上席執行役員	本間 宏二	執行役員	遠藤 俊哉
上席執行役員	澁谷 裕	執行役員	木寅 博文
上席執行役員	吉泉 康雄	執行役員	中東 辰美
		執行役員	桐畑 保彦

▶ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月開催

基準日
 定時株主総会 毎年 3月31日
 期末配当金 毎年 3月31日
 中間配当金 毎年 9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031(フリーダイヤル)

単元株式数 100株

証券コード 8140

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

▶ 株式の状況

発行可能株式総数 155,673,598株
 発行済株式の総数 31,500,000株
 株主数 3,441名

■ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	当社への持株状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,979	10.33
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,754	6.08
株式会社三井住友銀行	1,232	4.27
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	1,142	3.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,119	3.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	972	3.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	949	3.29
住友生命保険相互会社	861	2.99
日本生命保険相互会社	736	2.55
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	616	2.14

*持株比率は自己株式(2,661,866株)を控除して計算しております。(持株数=千株未満切捨て)

■ 株式の分布状況

